

第 51 回全道少年野球十勝支部予選大会

大 会 要 項

1. 主 催 北海道軟式野球連盟十勝支部
2. 後 援 十勝毎日新聞社、十勝スポーツ少年団、帯広少年軟式野球連盟、
十勝町村少年野球指導者協議会、帯広市教育委員会、芽室町教育委員会、
鹿追町教育委員会、豊頃町教育委員会、浦幌町教育委員会、
3. 協 賛 株式会社マテック
4. 参 加 資 格
 - ・十勝管内各小学校に在籍する者で、チーム全員がスポーツ障害保険又は、これに類する保険に加入していること。
 - ・全日本軟式野球連盟登録でスポーツ少年団に加入しているチーム。
 - ・登録選手は、監督(30)・コーチ(29・28)を除いて20名以内とする。
 - ・監督は、20歳以上であること
5. 全道大会 優勝 — 第51回全道少年野球大会(開催地：札幌)
参加枠 準優勝 — ホクレン旗争奪少年野球大会(支部第二代表)(開催地：札幌)
第3位 — 道東ブロック少年野球交流大会(支部第一代表)(開催地：厚岸)
第4位 — 道東ブロック少年野球交流大会(支部第二代表)(開催地：厚岸)
6. 大会日程 〈ブロックトーナメント〉
令和4年6月25日(土)・6月26日(日)【予備日 7月2日(土)】
〈支部代表決定戦(各ブロック優勝チーム)・閉会式〉
令和4年7月2日(土)【予備日 7月3日(日)】
7. 会 場 [Aブロック] 帯広市十勝川河川敷E・F
[Bブロック] 豊頃町営球場、浦幌町民球場
[Cブロック] 芽室小学校グラウンド、鹿追町営野球場
[Dブロック] 本別町太陽の丘野球場、足寄町営球場
〈支部代表決定戦〉 帯広市十勝川河川敷E・F
8. 雨天による 原則現地の判断による。各球場の連絡先は下記のとおり。
判断 帯広会場：小川(090-8429-4140)、豊頃会場：門 (090-3892-4388)
浦幌会場：松田(090-9518-6421)、芽室会場：佐々木(090-8425-2115)
鹿追会場：伊藤(090-2699-2828)、本別会場：大橋 (090-9512-1286)
足寄会場：小針(090-2818-7916)
9. 大会本部 北海道軟式野球連盟十勝支部【帯広の森平和球場】
Tel/Fax 0155-66-6216
10. 用 具 金属製スパイクの使用は禁止。捕手は、プロテクター・レガース・マスク・ヘルメットおよびファールカップを着用すること。コーチボックスに入るベースコーチ及びシートノックの補助員はヘルメットを着用。
11. ベンチに入れる 人数の制限 ベンチには、登録選手20以下と、ユニホームを着た監督(30)・コーチ(29・28)3名の他にチーム責任者1名、マネージャー1名、スコアラー1名の3名以内とする。

- 12.規 則
- ・ 2022 年度公認野球規則を適用する。
 - ①試合は、全試合トーナメント方式とし、ブロック予選は 5 回戦、正式試合は 3 イニングとする。又、3 回以降 7 点差の場合はコールドゲームを適用する。
 - ②支部代表決定戦は全試合 6 回戦とし、5 回以降 7 点差の場合はコールドゲームを適用する。
 - ③選手の健康管理を考慮し、試合時間は 1 時間 30 分とし、1 時間 15 分を超えて新しいイニングに入らないこととする。
 - ④ゲームは、①・②・③どちらも試合成立となる。
 - ⑤投手の投球数は、1 日 7 0 球とする。ただし、7 0 球目を投じた打者が完了するまで、投球することができる。
 - ⑥各球場の特別ルールに関する事項は試合前のオーダー交換時に説明します。
13. 延 長 戦
- 最終回を終了して同点の場合は、タイブレーク方式を 1 回行い、なおも同点の場合は抽選とする。ただし、最終回を終了した時点で試合時間を超える場合は、即抽選とする。(タイブレーク方式は無死、1・2 塁から開始する)
14. 抗 議 権
- 抗議の出来る者は、学童部は監督と当該プレーヤーとする。
15. 競技に関する特別規則
- ・ 規則 3・03 原注の「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから投手以外の守備位置に移ることもできない。」は適用しない。
 - ・ 監督・選手がタイムをかけて投手の元に集まる事の出来る回数は 3 回とする。攻撃側のタイムについても 3 回までとする。ただし、先にタイムを要求した側のタイムが終了する前に、後から集まった側が終了した場合は、後から集まった側の回数はカウントしないが、長引けばタイムをとったものとする。なお、タイブレーク方式となった場合は、1 度行くことができる。
16. 試合に関する取
決め事項
- ・ シートノックは 5 分間とする。ただし、各会場最初の試合のみとする。
 - ・ 感染防止対策上、ベンチ入れ替え等の接触を極力防ぐため、1 日目及び 2 日目の各ブロック準決勝までは、当初の予定通りの時間で試合を開始する。2 日目の第 3 試合(各ブロック決勝戦)については、残った 2 チームと協議し、試合開始時間を決定する。
 - ・ 監督、コーチのマウンドへの行き返りは小走りでスピーディーに行うこと。
 - ・ オーダー交換は、各試合の開始 30 分前とする。また、オーダー表には、登録選手全員を記載のこと。
 - ・ コーチスボックスに入るベースコーチのウインドブレーカーの着用を認めるが、同一意匠とすること。
 - ・ 本塁での捕手への体当たり及び 2 塁への不必要なスライディングを禁止する(インターフェアを適用)。
 - ・ 捕手のブロックを禁止する(オブストラクションを適用される場合がある)。
 - ・ 試合前に限りコーチによるブルペンキャチャーを認める。
17. 試合のスピー
ドアップ化
- ・ あまりインターバルが長かったり、無用なけん制が度を過ぎると、反則行為としてペナルティを課することがある。
18. 応援について
- ・ 感染防止対策上、大きな声での会話、応援、歌唱等は一切しないこと。また、拍手を基本として、音の出る物での応援は行わないこと。(プレーヤーの声、指導者の指示が通りやすいように)
19. そ の 他
- ・ 大会運営の関係上、各会場に 1 チーム、開催地チームを入れることとする。(監督会議の際に抽選により決定する。)